



# あまぬまだより

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumashou/>

杉並区立天沼小学校



## 朝遊び

—地域との協働作業—

副校長 一ツ柳 秀美

3学期は朝遊びからスタートしました。18日間のブランクを感じさせず12月22日の翌日のような感じで子供たちの遊びは始まりました。朝の30分間で汗一杯になるほど体を動かすことで授業への集中力は高まります。

杉並区では子供の体力向上のために「一日60分間運動」や「一校一取組」を提唱しています。本校では、朝の「かけあしタイム」、水曜日の「あまぬまフレンドパーク」、2学期の「長縄大会」、3学期に予定している「持久走大会」等を授業の充実を含めて提唱しています。朝遊びもその一つとして、雨天や校庭が使えない時以外は実施しています。

朝遊びが毎日実施できるのは、保護者と地域の方の『見守り支援隊』のおかげです。6つの町会（明るい町会、三よし会、二丁目町会、本天沼西町会、一丁目町会、三丁目西町会）から2人ずつ輪番制で当番をやっていただいています。寒い日も7時半には緑のチョッキを身に着け、開放指導室の鍵を開けて、子供たちが来るのを待っていてくれます。実は、学校では休み時間のサッカーは遊ぶ人数が多いために禁止されています。朝遊びの時間は、ゴールを使って思いっきりボールをけることができるのです。

子供たちは、元気なあいさつを交わし、ランドセルや荷物を置いてから遊び道具を取りに行きます。学校はここでのマナーやルールを見守り隊の方々と共通理解し指導しています。

1月14日に座・高円寺で行われた「すぎなみ教育シンポジウム」は、256人の定員を超える盛況ぶりです。杉並区の教育熱の高さを感じました。『今後10年の杉並の教育を共に学び、共に支え、共に創っていくために語り合おう』とのテーマでの公開討論会では、家庭・地域・学校のつながりを重視した、共に支える教育をどのように進めていこうかという活発な意見交換がありま

した。杉並の目指す教育のあり方が、朝遊びの様子と重なり、杉並の教育の先端を歩んでいることを実感しました。改めて町会の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

12月8日には本校で、『地域と保護者の交流会』がありました。7つの町会から地域の方々14人、PTAの保護者が20人参加して、グループになり、給食を食べながら和やかに懇談し親睦を図ることができました。その中で、地域で子供たちに声をかけていこうという話題になった時、「知らない人から声をかけられたら、怖がって逃げちゃうよ。顔がわからないと声はかけられないよ。」という意見が出ました。確かに子供たちには「いかのおすし」という合言葉で自分の身は自分で守るとの安全教育を徹底しています。「知らない人」に対して「ついていかない・知らない・おきな声を出す・すぐ逃げる・知らせる」ように教えています。

物騒な世の中だからこそ「顔の見えるコミュニティ」を作っていくことが急務です。子供たちは安全指導員や警備員、お話し会の講師の方々が大好きです。信頼できる大人には、挨拶もでき、声をかけてもらうのが嬉しくてたまりません。

2月7日の研究発表会のラウンドディスカッションでは、地域の方々からの忌憚のない意見をいただけることを期待しています。天沼小・中、沓掛小の教員と保護者、地域の代表の方々が一堂に会して「天沼地域の子供たちの10年後を共に創っていく」ために語り合いたいと思うのです。子供たちが悪いことをやっていたら遠慮なくしることができる地域が、いざという時には共に支えあい、助け合う事ができるのだと思います。まず、私たち大人が胸襟を開いて大いに語り合おうではありませんか！多くの方の参加をお待ち申し上げています。

### ……今月の目標……

#### 生活

寒さに負けず  
元気よく生活しましょう

#### 保健

風邪を予防しましょう

#### 給食

食事のマナーをきちんと  
身につけましょう

## 特別支援学級・済美養護学校 連合展覧会

1月20日(金)から23日(月)までの4日間、セシオン杉並にて、杉並区特別支援学級・済美養護学校の連合展覧会が開催されました。こだま学級の子供たちも、工夫した作品を出展しました。

### ● にじいろのさかな

絵本「にじいろのさかな」の読み聞かせを聞き、クレヨンや絵の具を使って、カラフルな魚の絵を描きました。きらきら光るシールを切って貼り、うろこにしました。



### ● ごみくいモンスター



新聞紙を使って、楽しいモンスターの形のごみばこを作りました。すみずみまでいねいに色を塗るのは大変でしたが、最後までがんばりました。

### ● スウェーデン刺繍、クロスステッチ



1学期から少しずつ取り組んできました。細かいところまでいねいに刺し進め、絵や模様、文字などを仕上げました。一人一人の努力が窺える作品になりました。

## 「とびだせ! がつてん」プログラム報告

5年生はキャリア教育の一つとして毎年「とびだせ! がつてん」プログラムに取り組んでいます。模擬会社を立ち上げて、実際に商品を作って売る活動を通して、会社の仕組みや仕事の流れを体験し、働くことの意義を気付かせるための学習です。

1学期は、節電が呼びかけられている時期でもあったので、児童の話し合いで売る商品は陶器キャンドルに決定しました。そして、市場調査に出かけ、消費者のニーズを探るためのアンケートを実施しました。その集計結果をもとにグループごとに商品のデザインを考え、2学期には、学校支援本部の方などに評価者になっていただき商品評価会を実施しました。そこで選ばれたデザインを活かして商品を決定し、会社組織を立ち上げました。社長や副社長を決定するとともに製造、宣伝等の部署を立ち上げ販売に向けて会社組織の一員として自分の責任を果たしています。会社運営の資金は、保護者の方に主旨を説明し、資金援助を募りました。これから、商品の仕上げ、宣伝等の活動を行います。販売日も決まりましたので、当日は子供たちの活動をご覧いただくとともに、ぜひ、応援していただければ幸いです。

販売後は、実際の会社同様に配当金を考えたり、利益の使い道を考えたりする活動も行います。子供たちに自分のよさを見つけ、責任・協力の大切さを体得させることで、この活動を意義のあるものとしていきたいと思いを。



### 商品販売について

日時：2月29日(水) 10:00~11:00  
場所：教会通り商店街  
ことぶき通り商店街  
アンサンプル荻窪

## 学校運営協議会だより

### 主婦の目から見た「規範意識」

学校運営協議会委員 篠原 永津子

先日、近くのスーパーに買い物に行きました。お店を出る時には重いガラスのドアを手で押します。両手に荷物を持っていましたが、なんとかドアを押して外に出ようとすると、ほとんど同時に若い女性が携帯音楽プレーヤーを聴きながら両手をポケットに入れたまま黙ってドアから入ってきました。「え…!?!」と思いましたが、一緒にいた若い男性があわててドアを持ち「すみません」と頭を下げ、私が外に出るまでドアをおさえてくれました。お礼を言いながら、「ああ、よかった。」と少しほっとしました。

「規範意識」という言葉は難しく堅苦しく聞こえます。その意味を説明しようとしても、抽象的でとらえどころがないので、だんだん自分の説明に自信がなくなり、最後には「…みたいなこと?」などと、疑問形で終わったりします。先ほどの、お店のドアでの出来事は小さなことですが、ひとつのヒントになりました。

目に見えないけれども大切なこと、形がないけれども大事にしていきたいこと、私たちはそれを、育ってきた環境の中で知らず知らずのうちに身につけていきます。そして、それらの目に見えない意識や感覚は、「マナーやモラル」、「思いやりや心遣い」、「道徳や倫理」というような言葉を通して、常に私たちの生活の中にあります。

天沼で育った子供たちが大人になった時に、いつのまにかそのような感覚、つまり「規範意識」が身についていたとすれば、それは、今ここにいる私たち大人の姿が正しかった、ということになるのではないのでしょうか。そう思える日が来ることを願いながら、毎日の生活を積み重ねていきたいと思いを。